令和8年度外部評価　質問票

財団等経営評価：公益財団法人杉並区スポーツ振興財団（担当：髙山委員）

質問No.		質問内容
1	委員記入欄	「応援するスポーツ事業」における招待条件の変更（「ペア無料」から「子ども無料・保護者半額招待」）の理由と、決定までどのような手順を踏んだのか、経緯を教えてください。
	所管課回答欄	本事業における対象試合の日程及び招待条件は、主催者である東京ヴェルディ側が興行方針等に基づき決定・提示するものです。出資団体ではない当財団といたしましては、クラブ側から提示された条件（子ども無料・保護者半額優待）に基づき、区民の皆様への周知及び募集を行いました。
2	委員記入欄	「財団スポーツ推進プラン」を資料としてご提示ください。
	所管課回答欄	※財団スポーツ推進プラン令和5～12年度：別紙1
3	委員記入欄	「効率性」において、安全性の高い地方債等有価証券を購入とありますが、令和8年度事業計画においては、「…国の「公益法人の設立許可及び指導監督基準の運用指針」（平成8年12月19日）において、「基本財産の管理運用は、安全、確実な方法、すなわち元本が確実に回収できるほか、固定資産としての常識的な運用益が得られ」る必要があるとされている。 このことを踏まえ、令和8年度に満期が到来する以下の債券について、国債又は地方債などの債券に買い替えることとし、…」とされています。記述に齟齬があると判断いたします。
	所管課回答欄	財団が保有する基本財産（投資有価証券）は、令和7年度決算書に記載のとおり、東京都債や大阪府債等の地方債に加え、利付国債も安全性の高い有価証券として購入・運用しております。経営評価表の「地方債等」という記述は、国債・地方債を含めた公社債全般を要約して記載したものです。一方、令和8年度事業計画は、満期到来に伴う再購入、買い替えに際し、国の「公益法人の設立許可及び指導監督基準の運用指針」に準拠し、元本保証と確実な運用益を確保する手続きの適性を明示するため、「国債又は地方債」と具体的に記載したものです。今後は、評価表等における表記につきまして「国債・地方債等の安全性の高い有価証券」など、より正確かつ統一的な記載に努めます。 ※令和7年度公益財団法人杉並区スポーツ振興財団決算書28頁参照：別紙2
4	委員記入欄	財団の事業は身体を使うこと、施設外での活動を伴いますが、それに伴うリスクも高いと考えられます。リスク管理について、どのような方策を講じているか、教えてください。
	所管課回答欄	初級パラスポーツ指導員やスポーツ・レクリエーション指導者、看護師など資格を持った専門の指導員を現場に配置するほか、ボランティアも配置するなど安全な指導やサポートを行っております。また、歩こう会は事前に歩くコースの点検を兼ねて下見を複数回実施するとともに、実行委員会委員の安全指導を行っています。さらに、事業参加者及びボランティア全員を対象に傷害保険に加入しており、特約として「往復途上特約」、「熱中症」、「低体温症」、「脱水症」、「細菌性食中毒症」を付帯させるなど、様々なリスクに対応しています。

質問No.	質問内容	
5	委員記入欄	事業分析Ⅲにおいて、令和3年とそれ以降では、事業規模が大きく変化していますが、どのような理由によるのでしょうか。
	所管課回答欄	平成22年度の「外郭団体の見直し検討報告」（区行財政改革推進本部）に基づき、令和元年度に取りまとめた「スポーツ振興財団あり方検討会報告書」により、区体育施設等の指定管理業務（荻窪体育館、高円寺体育館、松ノ木運動場、下高井戸運動場・区民集会所）を令和3年度末の指定期間満了をもって終了したためです。令和4年度以降は、単なる事業規模の縮小ではなく、民間事業者と競合しない公益財団法人ならではの障害者スポーツの振興、子ども及び高齢者の運動の機会の確保、地域スポーツ団体の育成及び指導者養成など、より公益性の高い事業へ特化しています。
6	委員記入欄	役員報酬の減額とありますが、従来の報酬（支払対象および金額）、変更後の報酬（同）をお示しください。
	所管課回答欄	常勤役員報酬の年度総額は、令和6年度　6,764,052円、令和7年度　5,401,468円であり、前年実績と比較して約136万円（約20.1%）の減額となっております。 この減額は、令和7年度予算の積算時に常勤役員の想定基準である定年前再任用短時間勤務職員の職級を6級として計上していたのに対し、区の人事配置に伴い実際に着任した職員の職級が5級となったことによるものです。

以下、西出委員から質問

7	委員記入欄	「財団の広報紙「マイスポーツすぎなみ」を年５回発行し、742,050部を新聞折り込みや区内施設に配布した。令和7年度は、隣接の三鷹市へ配布地域を拡大したことから、令和６年度から約48,000部増刷し、目標値を上回った」とあるが、何が目標だったのか？
	所管課回答欄	事業評価指標（活動指標）において、広報紙『マイスポーツすぎなみ』の発行部数694,000部を令和7年度の目標に設定しています。 各種イベント等の対象には区内在住者だけでなく在勤・在学者も含まれることから、「東京2025デフリンピック」の周知を広く行うため、従来からの武蔵野市に加え、新たに三鷹市へも配布エリアを広げました。その結果、前年度より約48,000部増刷し、目標値を上回る742,050部を配布しました。